

令和5年度 とやま新時代創造創造プロジェクト学習推進事業
実施報告書【学校課題実践校用】

学校番号	42
学校名	富山県立高岡聴覚総合支援学校

学校の現状と課題	<p>・平成22年度から高等部に軽度知的障害の生徒を対象とした福祉・サービス科を設置し、聴覚障害の生徒と共に学んでいる。</p> <p>・福祉・サービス科では、福祉、家政、流通・サービスに関する知識や技能の習得、校内実習・地域実習での実習等を通し、卒業後の就労を目指して技術や態度を養っている。そのためには実践的かつ専門的な知識・技能の育成が必要であり、体験的学習の機会の確保と、教員の専門性の向上、施設・設備面の充実が課題となっている。</p>	
テーマ(特色)	社会的・職業的自立に向けた実践的・体験的な学習活動の充実	
設定した「テーマ」の達成状況	<p>・清掃会社の方を講師に、環境美化に関する研修を8回実施し、清掃技術とともに就労に対する心構えについても学ぶことができた。</p> <p>・福祉施設の職員の方を講師に、生活福祉に関する研修を4回実施し、福祉施設で実際に使用している介助用具等を使っての講義を受けることができた。</p> <p>・高齢者施設での地域実習は、地域の高齢者施設が好意的に受け入れてくださり、年間15回の実習をほぼ計画通り実施することができた。</p>	
実施内容 (具体的に記入する)	<p>○環境美化に関する実技講習(8回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な清掃の心構え ・清掃用具の扱い方 ・フロア清掃(ダスターモップ) ・階段清掃(自在ぼうき) ・窓清掃(スクイジー) <p>○生活福祉に関する講義及び実技講習(4回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者介護の基本について ・車いすの取扱い方や車いす利用時の介助について ・衣類の着脱介助について ・食事介助について <p>○地域実習先(高齢者福祉施設)での実技講習(15回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロの清掃を進める考え方や目的、用具の使い方 ・福祉施設内の清掃(手すりやテーブルの除菌、トイレ・洗面台・廊下・居室等の清掃) 	
取組による成果 (プロジェクト学習推進の観点から)	<p>・環境美化に関する実技講習では、清掃会社の方による講義と演習を通して、清掃技術だけでなく、働くことの意義や社会人として必要な態度等についても学ぶことができた。教員以外の職業人から講義を受けることにより、生徒は身だしなみを整えること、自分から挨拶や報告することが身に付いてきたと思われる。</p> <p>・生活福祉に関する講義及び実技講習は、高齢者福祉施設の施設長を講師に迎え、施設で実際に使用しているストレッチャーや介護食等の介護用品を使用しながらの講義を受けることができた。車いすの操作や介護食の試食等、生徒は積極的に演習に参加する様子が見られた。また、福祉現場の具体的な話を聞くことで、生徒は介護職についてより具体的なイメージをもつとともに、実践的な知識や技術を身に付けることができた。</p> <p>・環境美化、生活福祉に関する講義及び実技講習には、校内の授業担当者以外の教員も参加することで、講師から専門的な知識や技術、指導方法を学ぶことができ、校内実習だけでなく就労支援への参考になることを多く学ぶことができた。</p> <p>・高齢者施設での実技講習では、施設自体の特徴を理解し、求められる方法で清掃を行うことの重要性を学ぶことができた。また、施設のルールを守ったり、周囲の利用者に気を配ったりしながら清掃業務に取り組む姿勢が身に付いた。年間を通し継続的に実施することで、就労に必要な態度や作業技術の向上が図られ、生徒が自身の成長を実感することもできていた。</p>	
対象者(学年・人数など)	高等部 福祉・サービス科 1年3名、2年3名、3年3名	
実施実績	4月	
	5月	環境美化①②
	6月	環境美化③、地域実習①②
	7月	環境美化④、地域実習③④
	8月	
	9月	環境美化⑤⑥⑦、地域実習⑤⑥⑦
	10月	環境美化⑧、地域実習⑧⑨
	11月	地域実習⑩、生活福祉①
	12月	地域実習⑪、生活福祉②③
	1月	地域実習⑫、生活福祉④
2月	地域実習⑬⑭⑮	
3月		